



出雲の国と石見の国の境まで歩く(銀山街道コース)



武名ヶ平山山頂からの眺めは格別(登山コース)

銀が運ばれた道を踏みしめる
銀山街道ウォーキング

町内の銀山街道と瀬戸山城跡を訪ねる「銀山街道ウォーキング」が開催されました。

15回目を迎えた今回は、県内在住者74人が参加。長者原古墳や石次の古民家に立ち寄りながら約6・2キロメートルを歩く銀山街道コースと、瀬戸山城跡から武名ヶ平山までの道を歩く登山コースを堪能しました。

銀山街道コースを歩いた町外からの参加者は「銀山街道の歴史はもろろん、シャワークライミングやコスモスなどの魅力も知ることができました。来年は登山コースに挑戦してみたいです」と話していました。

10/3
日

当時の面影が感じられる古道も魅力の一つ(銀山街道コース)

スノードームを作ろう
ものづくり教室10/9
土

親子でスノードームを作る「ものづくり教室」が赤名農村環境改善センターで開催されました。

当日は、赤名小学校の児童とその保護者40人が参加。ドーム状の透明な容器に、各家庭から持ってきた人形や模型などを入れて、思い思いの作品づくりに挑戦しました。

このイベントは「継続的に親子のコミュニケーションが取れる活動をした」という保護者の声を受け、谷公民館が企画。



完成間近の作品を自宅に持ち帰り、水を入れたら出来上がり

うんとこしょ、どっこいしょ
サツマイモほりとヤマメつかみどり10/10
日

サツマイモほりの後にヤマメつかみどり

東三瓶フラワーバレーイベント広場で「サツマイモほりとヤマメつかみどり」が開催されました。

「コスモス祭」の中止を受けて「志々未来会議」が企画したイベントには、町内在住の約80人が参加。サツマイモほりでは、地元の中学生在が発案した「重さコンテスト」も開催され、子どもたちは大きなイモを見つけようと必死になって畑を掘っていました。

参加者は「コロナで遠出は難しいので、地元でイベントがあるのはうれしい」と話していました。

「小さな親切」実行賞

中山茂樹さんと
愛犬まめすけが
受賞9/22
水

中山茂樹さん(下赤名)と愛犬まめすけが、「小さな親切 実行賞」を受賞しました。

中山さんとまめすけは、約7年前から、自宅近くの交差点で、平日の朝、学校に通う子どもたちの見守りを実施。けがをした子には手当をしたり、トイレに行きたい子には自宅のトイレを貸したりと、子どもたちにも寄り添ってきました。

中山さんは「子どもたちが安心してくれたらそれでいい。元気なうちは続けていきたい」と話していました。



(公社)「小さな親切」運動山陰本部が表彰

太鼓はええもんじや

来島交流センター1周年記念イベント

9/25
土

「みんなの広場来島交流センター」の1周年を記念するイベントが開催されました。

イベントを飾ったのは、益田市を拠点に活動する「今福座」の今福優さん、末長愛さん、堂本英里さん。和太鼓や笛の演奏、神楽、踊りなどを披露し、1周年を祝いました。

来島公民館の安部和昭館長は「地域の皆さんに、日本の伝統芸能を楽しんでもらおうと企画しました。今後も、教育・文化の拠点である来島交流センターの役割を果たしていきたい」と話していました。



演目「恵比須舞」。56人が会場に訪れました



演目「日本海幻想」。参加者からは「たくさんの元気をもらった」などの声が聞かれました



演目「大地の詩」。和太鼓の力強い音が会場を揺らす

山城の構造と歴史を学ぶ
中央図書館
歴史講座9/29
水

中央図書館のオープン1周年記念講座「飯南町の山城と尼子・毛利の攻防」が来島交流センターで開催されました。

「島根県立八雲立つ風土記の丘」の高屋茂男さん(副所長)が講師の講座には、約60人が参加。飯南町に点在する山城を記した地図などを参考に、山城の構造や歴史を学びました。

参加者は「飯南町には多くの山城があることを知って驚きました」「飯南町の歴史に触れられて勉強になった」などと話していました。



第2弾を求める声も